

■2021 年度 S 日程卒業見込者特別入試・一般入試

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

〔問〕は、問題文を読解し、自動運転車の実用化が技術的に実現し、交通手段として導入する場合、自動運転車が引き起こす交通事故に関して、著者が提起する多様な問題点を踏まえて、事故の責任についてどのように扱えばよいか考察し、自分の見解を根拠を示して論理的・説得的に論述する能力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 〔問〕について

著者は、自動運転車の実用化のためには、工学的な安全性の向上を追求するだけではなく、事故が発生した場合の被害に対する責任の所在、自動車を取りまく従来の社会の制度や環境との調整、安全性向上に伴う行動様式の危険な方向への変更、倫理的な観点から相対化される安全の価値等、多様かつそれぞれが非常に困難なうえに複雑に絡み合った問題を抱えていると指摘する。難解な問題であるが、問われている交通事故の責任の所在について考察する際に、例えば、指摘された上記の問題を手がかりとして、責任を負担させるべき理由やそのための条件等を考察して欲しい。考察の結果、細かな限定や条件等が想定されるとしても、結論として責任の所在について明らかにされることが求められる。

以 上